



チエリア

CHERIA

2025. Spring
vol.

72



内田 英子 うちだ えいこ

1937年、学校法人富澤学園の創設者である富澤昌義・富澤カネ夫妻の次女として山形市に生まれる。

国際基督教大学教養学部人文科学科卒業、ニューヨーク大学教育学部大学院、ジョージタウン大学大学院言語学科修士課程修了。

1987年、学校法人富澤学園山形女子短期大学(現:東北文教大学短期大学部)に入職し、講師、助教授、教授、副学長、学長を歴任。2010年、東北文教大学が開学し初代学長に就任。モットーは「明るく・楽しく・元気よく」。山形県内唯一の総合学園である富澤学園の副理事長・評議員を歴任し、私学教育の発展に尽力、2014年3月、学長職を退任。同年5月、東北文教大学の名誉教授第1号、東北文教大学短期大学部の名誉教授第15号の称号記が授与された。

令和5年 永眠。享年85歳。

表紙:山形県ゆかりの女性

61号から様々な分野で活躍された山形県ゆかりの女性たちを紹介しております。

CONTENTS

- 2-3 令和7年度 山形県男女共同参画センター事業のご案内
- 4 実務者研修会、DV防止講座 報告
- 5 男女共同参画県民企画事業
- 6 男性セミナー、男女共同参画地域講座 実施報告
- 7 ネットワーク活動支援事業 報告
チエリアの仲間になりませんか?
CHERIA登録団体紹介
- 8 伊藤館長コラム

参画センター事業のご案内

創っていくものです。どうぞご参加ください。



【 女性の活躍推進とワークバランスを目指して 】

チェリア塾の開講

女性の活躍を推進するうえでのキーパーソンや女性リーダーの育成を目的に、学習講座「チェリア塾」を開講します。

チェリア塾基本コース

男女共同参画に関する基本的な知識と考え方を身に付け、企業や地域において、男女共同参画を推進するキーパーソンや女性リーダーを育成するとともに、そのネットワーク化を目的として開催します。

- 期日：未定
- 会場：村山地域
- 参加費：3千円



令和6年度最上地域開催

チェリア塾実践コース

チェリア塾の基本コースで身につけた知識をより高め、その知識を生かし実践力を身につけるために開催します。原則として、前年度の基本コース修了生を対象とします。

- 期日：未定
- 会場：最上地域
- 参加費：3千円



令和6年度置賜地域開催

チェリア塾専門コース

チェリア塾修了生や県男女共同参画推進員を対象に、男女共同参画をわかりやすく伝えるためのワークショップ技法を学ぶ講座を開催します。

やまがた女性キャリアアップセミナー

企業で働く女性を対象に、職場で活躍するために必要な様々な能力「リーダーシップ」、「コミュニケーション力」、「情報活用能力」等を学ぶセミナーを開催します。

- 期日：未定
- 会場：遊学館ほか一会場
- 参加費：無料

男性セミナーの開催

男女共同参画を一層推進するため、男性の参加を促すセミナーを開催します。

- 期日：9月
- 会場：遊学館
- 参加費：無料

次世代人材育成セミナー等の開催

県内の大学生等を対象に、次世代の男女共同参画リーダーを養成する講座の開催と併せ高校生向けに受講した学生が出前講座を実施します。

- 会場：遊学館
- 参加費：無料

【 男女共同参画に関する相談と支援 】

相談業務

一般相談

電話・面談(面談は要予約)

月・火・水・木・土……………9:00~17:00

金・日・祝日……………13:00~17:00

休館日

(毎月第1・第3・第5月曜日、毎月第3日曜日、年末年始)を除く

男性相談

電話

毎月第1・第2・第3水曜日……………19:00~21:00

専門相談

面談

法律相談

- 毎月第2・第4木曜日

14:00~16:00 (無料 要予約)

こころの相談

- 毎月第2・第4土曜日

14:00~16:00 (無料 要予約)

一般相談専用電話 023-629-8007

男性相談専用電話 023-646-1181

性の多様性に関する相談(仮称)

(無料:電話のみ)

◆詳細は今後決定

性的マイノリティ当事者の方やその家族、学校や職場などで当事者に接する方が抱えている不安や悩みに対応する専門家の相談。

相談員研修

県内の各相談機関で相談に関わっている方を対象に「男女共同参画の視点での対応」を学び、活用していくための研修会を開催します。

相談機関初任者研修会

- 期日：6月

- 対象者：相談業務初任者(概ね3年未満)

相談機関実務者研修会

- 期日：9月

- 対象者：相談業務実務者



令和7年度 山形県男女共同

男女共同参画社会は、皆さんと一緒に

【 県民の意識改革を目指して 】

県民企画事業

男女共同参画社会実現のために、団体・グループなどが企画、実施する各種講座、調査研究等の優れた企画に対して助成します。1件20万円(3/4助成)を上限とし、2件程度の募集とします。

男女共同参画週間記念事業

6月23日～29日の男女共同参画週間に、男女共同参画社会づくりを進めるための啓発事業を、県・市町村・女性団体等と協力して各地域において実施します。

遊学館等においてパネル展示を行うほか、他団体へパネルを貸し出します。またラジオ等による広報を行います。



遊学館二階に展示

中学・高校教育の場における 男女共同参画学習の推進

中学生を対象とした男女共同参画について考えるリーフレットを作成し、県内すべての1年生に配布します。

DV防止の普及啓発の推進

夫婦や恋人など、親しい間柄の暴力をなくすことを目指して、11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にパープルリボンプロジェクトを県内市町村と一緒に取り組みます。

遊学館等において意識啓発のためのパネルやポスター展示、パープルリボンブローチやリーフレットを配布します。

また、期間中、DV防止をテーマとした一般県民向けのセミナーを開催します。



パネル展示による啓発周知

地域防災女性参画普及推進事業

男女共同参画の視点を取り入れた地域の防災向上に向け、地域防災の女性リーダー養成のセミナーの開催や啓発等を実施します。

広報誌「チェリア」の発行

男女共同参画センターの事業や男女共同参画に関する話題を県民に周知、提供する目的として広報誌「チェリア」を発行しています。

■ 発行回数：年2回 ■ 発行部数：4,000部

【 地域の男女共同参画を進めるために 】

男女共同参画連携会議の開催

県内の各総合支庁・各市町村・男女共同参画施設・男女共同参画推進員等と連携を図りながら地域での男女共同参画の取組みの拡大と各種施策・事業の効果的な展開を図るため、連携会議を県とともに開催します。

地域男女共同参画ネットワーク活動支援事業

県内4ブロックに形成された男女共同参画地域ネットワークの自律的活動の活性化を図るため、男女共同参画を推進する学習会、イベント等を支援していきます。

男女共同参画地域講座の開催

市町村を中心とする各種団体等で構成する実行委員会主催での公開講座や、市町村における男女共同参画推進のための連続講座等に対して支援します。

団体・グループ活動活性化事業

登録団体が参加するネットワーク会議を開催します。会議では、事業に関する提案・周知のほか、チェリアフェスティバルに関する意見交換等を行います。

学習会等支援事業

団体・グループが自ら企画、実施する男女共同参画に関する講演・研修会等に対し、その講師の謝金及び旅費交通費を助成します。(上限額2万円)

チェリアフェスティバル山形2025の開催

男女共同参画社会づくりをめざして活動している団体・グループの活動を発表するとともに、県民の皆様との交流を深めます。アトラクション、ワークショップ、展示、屋外にぎわいコーナー、講演会等を開催します。

- 期日：10月
- 会場：遊学館



昨年開催チェリアフェスティバル山形2024

男女共同参画推進員の活動

地域における身近な男女共同参画を推進するため、各地域に男女共同参画推進員を配置し、普及啓発活動に総合的に取組みます。また、企業や教育機関等にも広く周知を図り、推進員のより広範な活用を図ります。



— 令和6年度 —

県内相談機関実務者研修会



開催日 / 令和6年10月3日(木)

講師 / 聖学院大学心理福祉学部客員教授
大正大学名誉教授 森岡由起子氏

講演 / 支援者を支援するという事 ～相談員のメンタルヘルスケアについて～

チェリアでは毎年、県内相談機関の相談実務担当者を対象として実務者研修会を開催しています。今年度は、Zoomによるオンライン研修会として開催。講師として聖学院大学心理福祉学部客員教授である森岡由起子氏をお迎えし、支援者支援についてお話しいただきました。

講師からは、支援者支援の重要性や、援助者に起こりやすい共感疲労、メンタルヘルスケアの方法についての説明だけでなく、実際のケースを通じて、発達障害や愛着障害に対する具体的な支援及び被支援者の変化についての説明や、参考図書を紹介がありました。

講演後の質疑応答も活発に行われ、参加者から寄せられる質問に対し、一つ一つ講師が丁寧に回答してくださいました。参加者からは、「オンラインなので参加しやすかった」、「講演だけでなく質疑応答の内容も大変参考になった」との感想が多く寄せられました。

— 令和6年度 —

「DV防止講座」を開催しました

開催日 / 令和6年12月 6日(金)

講師 / 上町カウンセリングオフィス 臨床心理士 永田 悠芽 氏

タイトル / DVはなぜ起こるのか ～社会問題としてみるDV～

DV防止の普及啓発に向けた活動の一環としてチェリアでは令和2年度よりDV防止講座を開催しています。今年度は上町カウンセリングオフィスの永田悠芽先生を講師にお招きし講座を開催しました。

DVの定義やDVの種類、相談件数の推移、DVと虐待の関係性などたくさんのご講話頂き正に社会問題なのだと思えさせられる場面が多々ありました。

「被害者の多くは女性」ということは知っていましたが、被害者は男性もいることや自分の状況を相対化するのは難しいこと等を知りました。更に「加害者教育・更生プログラムは日本では民間が中心となっている」を聞いたのは初めてであり、DVはここまで深刻なのだと思撃を受けました。

加害者の変化を促すのは、被害者を支援しDVをなくすためだそうです。DV防止は、行政と民間、地域など、それぞれの特性を結集させて社会が一丸となって取り組んでいくことだと感じました。講座では活発に質問が出て参加者の意識が高い場となりました。

令和6年度

山形県男女共同参画県民企画事業

開催報告

チェリアでは、男女が共にいきいきと活躍できる社会を目指し、団体等が自主的に企画・実施し、男女共同参画を進める事業に対して助成をしています。今年度は2団体の企画が実施されました。今号ではその活動について報告します。

事業名 女性同士による持続可能な農業を考える会議

団体 かわにし有機農業推進協議会

持続可能な食と農について女性同士で意見交換を実施

かわにし有機農業推進協議会は女性農業者と食に関わる女性同士の繋がりを深めるため、「女性同士で持続可能な食と農を考える会」を12月4日に川西町役場で開催しました。

当日は町内外から約20名が参加し、元スターバックス店員の影澤愛さんから美味しいコーヒーの淹れ方についてレクチャーを受けました。コーヒーの良い香りが漂う中、食を通じた地域づくりについて意見交換が行われ、参加者からは「子ども食堂やフードバンクに農産物を寄付し地域のつながりを強める」「規格外品は堆肥や肥料として活用する」などのアイデアが出されました。有限な資源の活用法については、生産者・消費者・流通といったそれぞれの立場で「もったいない」について考え、次世代に農業を繋いでいくヒントを考えました。

また、農林水産省経営局就農・女性課女性活躍推進室の大河原綾乃係員から女性農業者の現状や支援策についてオンラインにて説明も受けました。

農業業界では女性同士で集まる機会が少ないため、閉会後も参加者同士の会話に花が咲き、様々な情報交換が行われました。



事業名 親になる準備セミナー

団体 一般社団法人山形県助産師会

開催日 12月1日(日)、12月8日(日)

講師 塩野悦子氏(東北福祉大学健康科学部 保健看護学科教授)

～これからのパパ・ママと一緒に楽しく産後の生活について考える～

女性のように妊娠を経験し、出産前から親になることを体感することが難しい男性には、妊娠期から夫婦で出産や産後の準備に臨むことや、積極的に家事育児に取り組むことが必要とされています。

また、男性に、女性の家事育児負担を軽減するサポーターとしての役割を求めらるばかりではなく、夫婦で協働することにより家事育児の悩みを共有し、お互いの家庭内での孤立を避け、産後うつを発症を防ぐことも重要視されています。

今回の「親になる準備セミナー」には20名の方が参加されました。季節柄、体調不良によるキャンセルが数件ありましたが、ご夫婦どちらかでも参加したいという方や、まだ婚約中だが勉強したいという方もあり、参加者の意識の高さがうかがえました。

アンケートでは、男性からは「妊娠と子育てを妻と一緒に進めていこうという気持ちになった」「家事のやり方やパパ育休の取り方など、パパ同士で話ができて有意義だった」、女性からは「夫への感謝を伝え日々過ごしていきたいと思う」「親になること、母親の実感について考える機会が持てとてもためになった」「今後の育児や夫婦関係について参考になった」などの前向きな感想をいただきました。

また、男性から「価値観をどんどん更新していくのがなかなか大変で、あるべき姿や目指す姿はわかっているができない自分がある」といった、男性もサポートを必要としていることがわかる感想もいただきました。男女に分かれてのディスカッションが、とても有意義な時間となったようでした。



令和6年度男性セミナー

「ちがいがわかる男のコーヒー講座vol.8」開催報告



開催日 / 令和7年1月18日(土)

会場 / 尾花沢市共同福祉施設

講師 / I部 (株)東北萬国社 コーヒーインストラクター 赤塚宏之氏

II部 チェリア塾ネットワーク村山 五十嵐優子氏

山形県男女共同参画推進員 石澤治雄氏



～男性を対象に、男女共同参画の理解促進と意識啓発を目的として開催している男性セミナー。毎年好評を頂いているコーヒー講座は今年で8回目、尾花沢市で開催しました。～

第I部は、「これであなたもコーヒー名人!」のタイトルで、(株)東北萬国社 コーヒーインストラクター 赤塚宏之氏を迎え、おいしいコーヒーの淹れ方を教わりました。ハンドドリップの説明と実演では、参加者は赤塚講師のお話を熱心に聞き入り、その一挙一動に注目していました。そのあとはそれぞれがハンドドリップに挑戦! 様々な種類の豆で淹れたコーヒーの味を飲み比べながら、笑顔がこぼれる楽しい時間となりました。

第II部は、「家族や仲間とおいしいコーヒーを楽しもう!」をテーマにチェリア塾ネットワーク村山会員の五十嵐優子氏、県男女共同参画推進員の石澤治雄氏が、ジェンダーカードを使ってワークショップを行いました。

ジェンダーカードから気になるカードを選び、自分の意見を発表。気がついた事や思った事を各グループで話し合いました。話し合うにつれ場が和み、それぞれのグループで話が弾んでいる様子が見られました。

最後に五十嵐氏から「アンコンシャス・バイアスは誰しもが持っているもの。自分が発した言葉で知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、モヤモヤさせたりすることがある。ということを中心に留めてほしい。」との話がありました。

ジェンダーカードとは…チェリアの登録団体「ちえりっぽ(女性=健康Yamagata)」が作成した、男女共同参画に関わる文章が載った40枚のカード。

アンコンシャス・バイアスとは…無意識の思い込み。性別や年齢など等一部の思い込みで人を判断してしまうこと。

令和6年度

男女共同参画地域講座

チェリアでは男女共同参画社会づくりを推進する、市町村や地域の活動団体・グループが行う講演会等の開催を支援しています。今回、置賜地域講座を川西町で開催しました。

題名 / 男女共同参画 × 防災講座

内容 / 「地域と行政が避難生活における住民の命と健康、尊厳を守るには
～高齢者・障害者・子ども・女性などの視点から～」

講師 / 浅野幸子氏 【Zoom開催】

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表

早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

主催者 / かわにしの家庭から考える実行委員会

共催者 / 川西町地域づくり連絡協議会

期日 / 令和7年2月19日(水)10:00～16:00

会場 / 川西町役場 大会議室

参加者 / 60名



講師の浅野氏より、「避難所の運営には、性別・立場による被災の違いを認めることが必要で、女性の参加が不可欠である。また、行政・地域・福祉関係者等の各主体の連携力が問われるとともに、情報収集、連携、意思決定の場に、女性や障がい者など多様な当事者も入っていることが重要である」とご講話頂き参加者は熱心に耳を傾けていました。

講演後のワークショップでは「これからどういう工夫ができるか」というテーマについて参加者同士で情報共有しました。今後の課題として「女性メインの防災は考えておらず、女性メインの防災訓練が必要」、「介護面では民間団体の協力も必要」などが挙げられました。

最後に、講師から「年に1回、できること、できないことを話し合い、工夫してほしい」と総評を受け、研修会を終了しました。

今回の講座は、刺し子クラブみどりとはなはな倶楽部によるネットワーク活動支援事業として開催しました。

開催の目的は、刺し子文化とアイヌ民族の文化、特に衣服についての歴史などの話を通して、民族文化・伝統文化の理解を図ること、刺し子やアイヌ民族の衣装、刺繍、木彫りなどの工芸品を展示し、参加者が実際に手に取ってその技術に触れる機会とすることです。

内
容

第1部 講師2名による講話

講話1、「山形に残る刺し子」 高木直氏(山形大学名誉教授)

講話2、「北方に生きる人々の文化と文様」 廣瀬隆人氏(元宇都宮大学教授 特定非営利活動法人宙理事長)

第2部 講師2名によるトーク・参加者との質疑応答

アイヌの民族衣装着用と、刺し子とアイヌ工芸品に触れて楽しむ体験

日 時 / 令和6年12月1日(日)13:30~15:30

会 場 / 遊学館 第3研修室

参 加 者 / 38名(女性31名/男性5名/子ども2名)

終了後のアンケートでは、「生活の知恵や技術力の高さに感銘を受けた」「刺し子が発展した背景や、アイヌ文化について知ることができとても良かった。最高でした」「刺し子とアイヌの共通点が理解できた」「なかなか聞く機会のない内容だったので貴重な機会となった」との感想が寄せられ、参加者の満足度の高い講座となりました。また、子どもたちからの感想も「アイヌのきものや、さしこのことが知れて良かったです」「昔のことも知れてたのしかったです」とあり、開催目的達成とともに、今後の展開が楽しい講座となりました。



CHERIA登録団体紹介

山形西学園 シャンティヨガ教室

一人一人の個性を大切に

2005年から遊学館施設内において20年に渡りヨガ教室を開催してきました。

ヨガは肉体と精神の両方を鍛え人生に深く関わるものです。身体が硬いからと躊躇する方も多いと思います。身体の悩み、心の悩みは人それぞれ。心と身体を調和させ心身の緊張を解し、心の安定と安らぎを得ることを目的としています。ヨガで呼吸を意識化する事で心と身体の繋がりを取り戻しより健康で幸せな日常を目指すものです。

働く世代の肥満や運動不足、ストレス、生活習慣病のリスクを軽減します。睡眠不足やストレスの蓄積でアンバランスになりやすい自律神経の調整にも効果的です。

また高齢者の加齢による機能低下、生活習慣病による疾病の増加を予防するのもです。

ヨガの呼吸とともに実習する動きは体内に多くの酸素を取り込み血流やリンパの流れを促進します。ヨガは不自然な老化を予防し、自然治癒力をアップする効果があります。

現在会員数は12名。ヨガの実習について、毎週1回の月4回もしくは月2回とそれぞれの生活スタイルに合わせ選択肢を増やし、より多くの方の健康に役立てたいとしています。体験教室1回無料です。是非お気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ】

〒990-2493 山形市美畑町9-25

TEL.090-9039-0914

Mail hsty.5531@docomo.ne.jp 平 早苗



チェリアでは団体・グループ登録制度を設けています。
随時受付中!! 詳しくはチェリアまで!!



#03



若い世代と男女共同参画

伊藤 眞知子

山形県は令和5年度～6年度に「男女共同参画ユースリーダー養成講座」を開講しました。山形県内等の短大・大学に通う学生を対象に、ジェンダー平等や多様性を学び、ユース版「ジェンダーカード」を制作し、それを使って、高校生に出前講座を行うという連続講座です。ユース版「ジェンダーカード」は、例えば「性別によって違う校則をどう思う?」「男子は美容について話しやすい?」などの質問が1枚に1つ書かれていて、それについてグループで話し合い、意見や考えを交換したり、共有したりするツールです。受講生たちは、実際に県内の複数の高校で、ワークショップを開催し、高校生たちと共に学びました。修了後は「有志が「ジェンダーカード交流会」を大学で開催する等、自主的に活動しています。

養成講座の講師には、SNS等を通じて、男女共同参画関連の活動をしている、20歳代のアクティビストが必ず参加しています。少し年上の講師から、若い世代なりの活動方法や発想を教えてください、またロールモデルとしての姿を見せていただくためです。学生が高校生に出前講座でワークショップをすることも、同様の意味があります。男女共同参画・ジェンダー平等への

関心を若い世代に広げ、学ぶ機会を増やしていくために、有効な手法であると考えられます。

学生時代までは、男だから／女だからということにあまりこだわらず、友人関係や学校生活を過しているても、就職活動で男女の区別(時には差別)に直面したり、社会人になると、職場に「昭和の時代」の働き方、慣行や文化が残っていたりということが少なくありません。「令和4年版男女共同参画白書」(内閣府)によると、若い世代の女性は、上の世代よりも、就業継続、昇進、管理職になることへの意欲が高いものの、無償労働時間が女性に偏っているため、仕事と家事・育児等の両立に課題を感じて、職業生活での活躍が進まない可能性があると指摘しています。一方、若い世代の男性は、家事・育児等への参画意欲や育児休業取得意欲が上の世代と比較して高いものの、長時間労働の雇用慣行がその実現を阻んでいる可能性が高いということです。

若い世代の意識の変化の芽をつぶさないよう、上の世代が、制度・慣行を令和の時代に合ったものへと変えていくことが必要であり、発想の転換が求められます。若い世代の邪魔をしないよう、チェリアでは、男女共同参画に関する学習をなお一層進めて、意識変革を図っていきたいと思います。



2021年4月からチェリア館長、東北公益文科大学名誉教授

広報誌「チェリア」発行回数変更のお知らせ

2025年よりSNSでの広報を強化する一方、これまで年3回発行しておりました広報誌「チェリア」につきまして、発行回数を「秋号」「春号」の年2回に変更いたします。今後も男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画についての正しい理解と認識を深めるための広報誌をお届けして参りますので、ぜひご覧ください。

編集後記

- ▶季節にも人生にも通じる、冬来たりなば春遠からじという言葉が好きです。今季は大雪で雪かきが大変でしたね。今年はふきのとう味噌作りに挑戦します(T)
- ▶日常の「家庭・職場・地域・暮らし」の中で自分が持つ無意識の偏見について気付かされた場面が多々ありました。男女共同参画社会の実現を目指すにはまず自分の意識改革が必要ですね。(S)
- ▶雪の多い年でした。裏路地には雪の小山がひっそりと残っていますが、日ごとに柔らかさを増していく光が、寒さ厳しきこの地にも春が訪れつつあることを教えてくれています。慌ただしく過ごしたこの1年、ようやく季節を感じる余裕が生まれました。支えてくださった皆様にご心より感謝申し上げます。(E)

山形県男女共同参画センター チェリア
 〒990-0041 山形市緑町1-2-36 遊学館2階
 TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752
 相談専用電話 023-629-8007
 H P <https://yamagata-cheria.org/>
 利用時間 午前9時～午後9時
 ※夜間利用の申し込みがない場合は午後8時まで
 休館日 第1・3・5月曜日、第3日曜日、年末年始
令和7年3月発行
 編集発行 (公財) 山形県生涯学習文化財団



- 【アクセス】**
- JR山形駅から
バス/市役所経由路線バスで市役所前下車、徒歩5分
タクシー/約10分 徒歩/約25分
 - 自動車
山形自動車道山形蔵王ICから約10分。
県営駐車場、遊学館駐車場をご利用下さい。
入退館時に駐車券を遊学館1階の総合案内へお出し下さい。
ご利用時間に応じて駐車料金が割引になります。

チェリア HPはこちら!

